ZP43L・45L・50L

取扱いのポイント

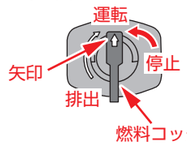
※この取扱いシートは取扱う上でのポイントのみ説明しています。詳細は取扱説明書を参照してください。

①エンジンの始動のしかた

取扱いのポイント

●下記①～⑨の手順でエンジンを始動してください。

①燃料コックレバーを【運転】位置にする。



②ブレーキペダルを踏込む。

③ブレーキロックレバーでブレーキペダルをロックする。

④主変速レバーを【N】(中立) 位置にする。

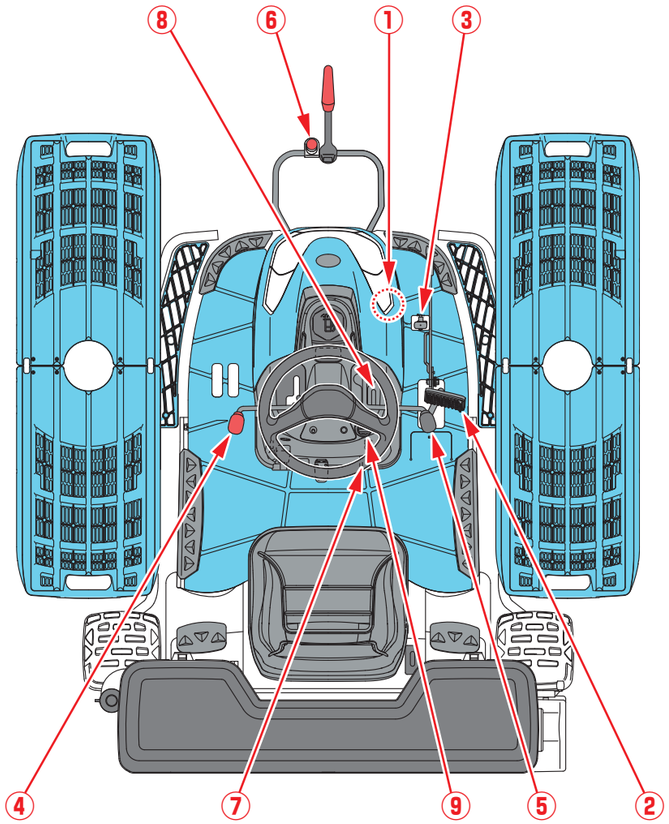
⑤植付クラッチレバーを【N】(中立) 位置にする。

⑥緊急停止ボタンを【運転】位置にする。

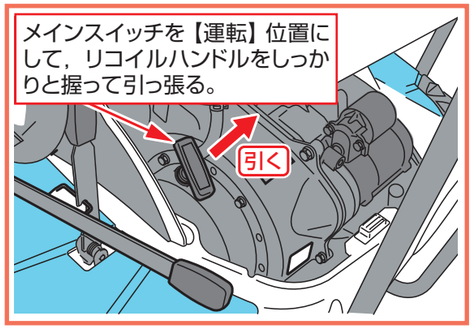
⑦チョークレバーを引く。

⑧アクセルレバーを【始動】位置まで引く。

⑨メインスイッチを【始動】位置まで回す。



●バッテリがあがっても，ボンネット内の前から見て左側にあるリコイルハンドルでエンジン始動できます。



[重要]

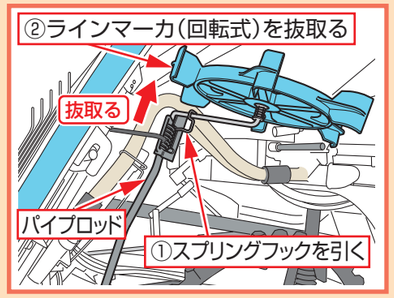
バッテリがあがっていると，田植えの性能に不具合が発生するおそれがあります。

実作業を行う前には**必ず充電してください**。劣化したバッテリでは作業しないでください。

②移動のしかた

狭い場所での運転や後進時は，エンジンを低速回転にし，周囲の安全をよく確かめてからゆっくりと主変速レバーを操作してください。

移動をするときは，下記の準備をしてください。



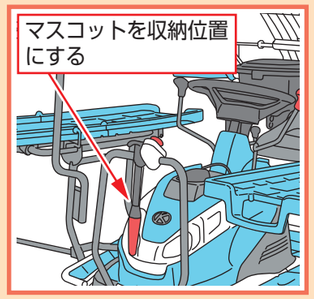
●準備をするときは，平坦で安全な場所で，エンジンを必ず止めてから行なってください。

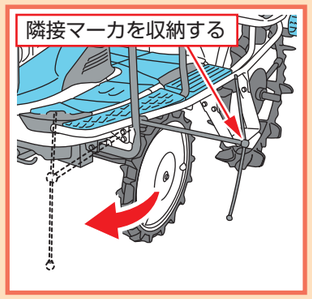
●苗のせ台及び予備苗のせ台にある苗や苗すくい板はすべて降し，ステップ周りに物は置かないでください。

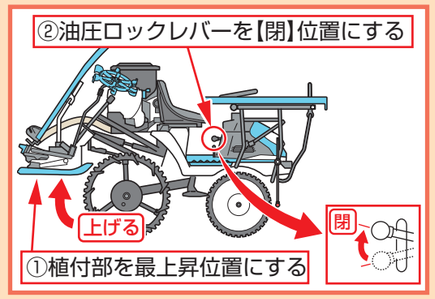
●ホッパ内の肥料はすべて排出して空の状態にしてください。

【F仕様】

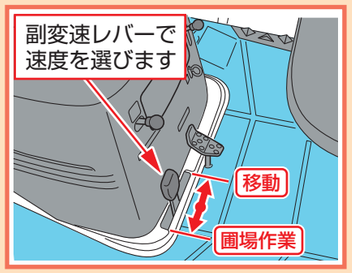
[補足] 停止中に植付部を上げるときは，エンジンを始動し，主変速レバーを【N】(中立)，ブレーキペダル【解除】の状態で，植付クラッチレバーを操作してください。

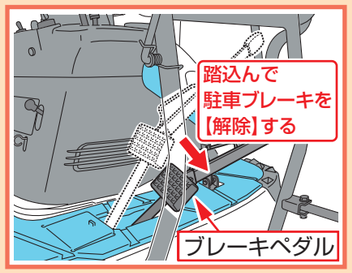


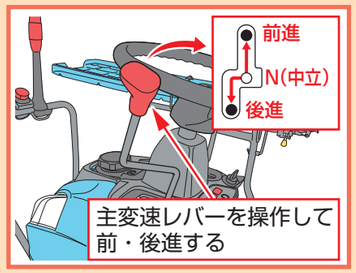




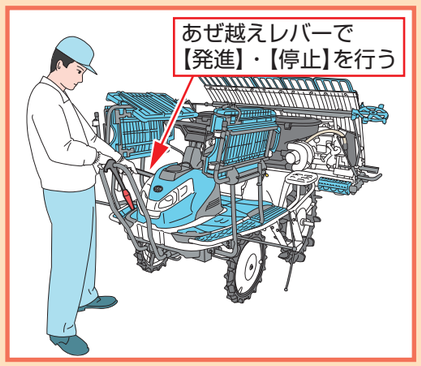
乗車しての移動のしかた

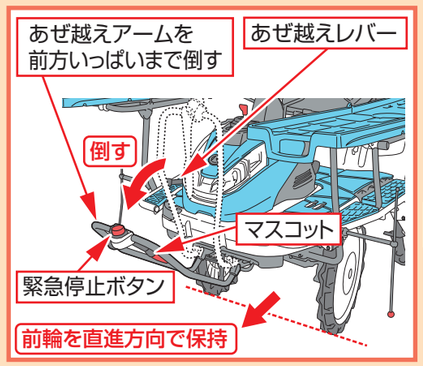






降りての移動のしかた





●副変速レバーを【圃場作業】側にし，主変速レバーは【低速】(1～2速)にしてください。

緊急停止ボタン

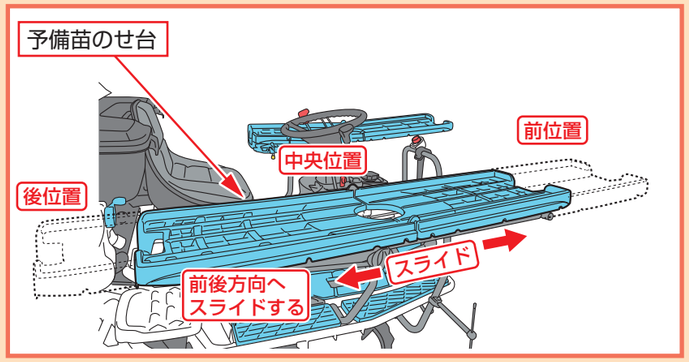
●緊急停止ボタンを押すとエンジンが停止し警報がなります。

③植付作業のしかた

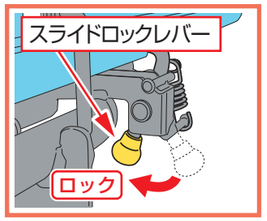
植付作業をするときは，下記の準備をしてください。

前ページ「移動のしかた」の準備作業の逆手順で下記を準備します。
- ●ラインマーカをアームに装着し，隣接マーカを横に開きます。
- ●マスコットを作業位置（上向き）にします。
- ●油圧ロックレバーを【開】にします。

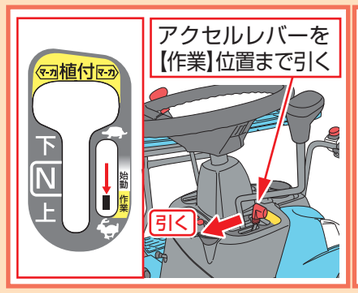
●予備苗のせ台は，前後 3 段階の位置にセットできます。

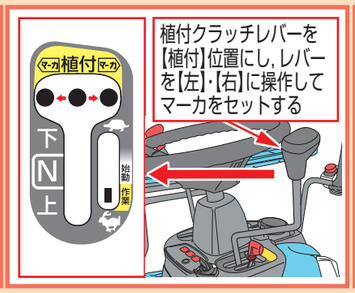


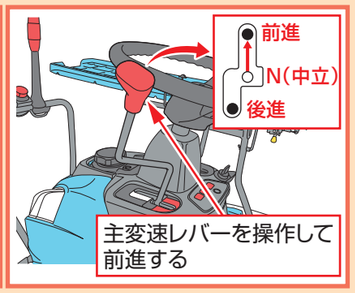
●予備苗のせ台は，移動時や運搬時は，必ずスライドロックレバーをロック位置にしてください。



植付作業の手順

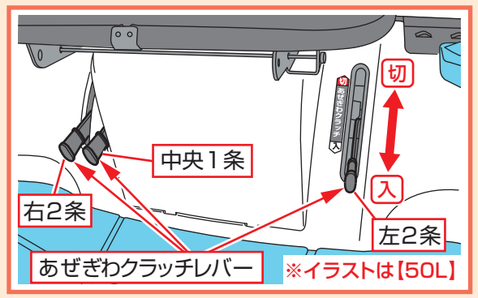






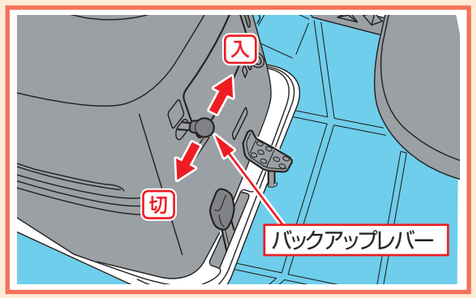
■あぜぎわクラッチレバー

2条ごとの（【50L】中央部は1条）に苗の縦送りと植付爪の駆動を停止するレバーです。



■バックアップレバー【45L・50L】

後進時に植付部が自動で上昇する機能（バックアップ機能）を【入】か【切】か選択するレバーです。

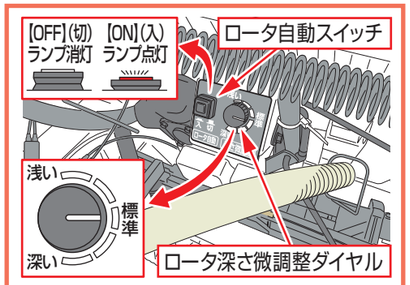


④ロータ仕様について【45L・50L】

ロータ自動スイッチ

- ●整地ロータの【昇降】を制御するスイッチです。
- ●ロータ自動スイッチ【ON】の場合はランプが点灯し，【OFF】の場合はランプが消灯し，格納位置に保持します。

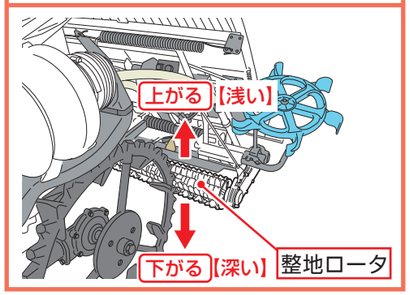
[補足] ●整地ロータの昇降は，植付クラッチレバー【入】で下降し，【切】で上昇します。



ロータ深さ微調整ダイヤル

- ●整地ロータの深さを微調節するダイヤルです。
- ●整地ロータは，圃場の車輪跡の整地を行ない植跡をきれいにするためのものです。
  - ＊ロータが泥押しする……ラベル表示の【浅い】に回す。
  - ＊表土の整地が悪い……ラベル表示の【深い】に回す。

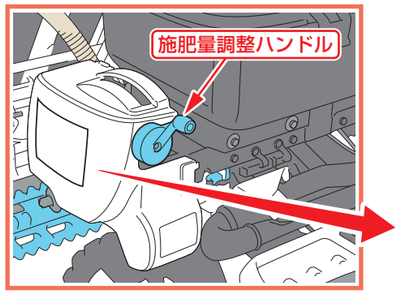
[重要] ●整地ロータは，圃場の凸凹を軽くならす装置です。耕うん装置ではありません。必ず，適度な代かきをして田植作業を行なってください。

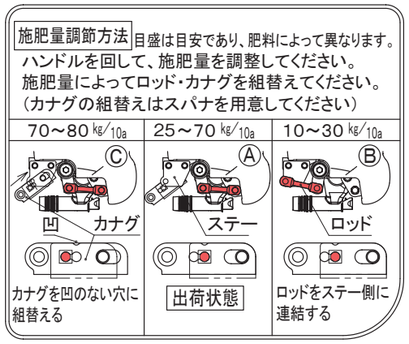


⑤施肥仕様について【F仕様】

施肥量の調節

●施肥機中央の連結カナグと調量部下のロッドの切替で，
70 ～ 80kg/10a，
25 ～ 70kg/10a，
10 ～ 30kg/10a
の範囲で調量できます。





肥料の条止め方法

●座席後方のホルダからシャッタを抜き，施肥ホッパ下のキャップを外して，シャッタを差し込みます。

[補足] ●全条停止レバー，施肥警報停止スイッチも装備しています。